

第2回小矢部市小中学校統廃合審議会要旨録

1. 開催日時	平成30年12月4日（火） 13:30～15:10	
2. 場 所	小矢部市総合保健福祉センター大会議室（3階）	
3. 出席委員	富山国際大学子ども育成学部教授 教育長職務代理者 教育委員 教育委員 教育委員 小矢部市自治会連合会会長 小矢部市自治会連合会代表 小矢部市PTA連絡協議会会長 小矢部市PTA連絡協議会副会長 小矢部市女性団体連絡協議会会長 小矢部市連合婦人会会長 （公社）小矢部市青年会議所理事長 小矢部市民生委員児童委員協議会代表 （公財）小矢部市体育協会副会長 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 社会福祉法人小矢部福祉会理事長 小矢部市小・中学校長会会長 公募委員	仲井 文之 古村 正明 西永 勉 佐々木稲男 津山 玄亮 川原 久俊 松本 信明 中田 稔 高嶋 成幸 嶋田 幸恵 飛田 久子 六谷 成伸 松本 陽子 杉澤 弘司 日光 久悦 西川 康夫 笹島 康代 山崎 勇
4. 欠席委員	小矢部市商工会会長 小矢部市社会教育委員会議議長 小矢部市中学校長会会長	新明 政夫 高橋 久雄 川岸 直紀
5. 事務局	教育長 事務局長 教育総務課 次長兼課長 課長補佐 主査 指導主事	野澤 敏夫 砂田 克宏 間ヶ数昌浩 瀧田将一郎 本田 和裕 吉倉 哲夫
6. 会議次第	（1）開会 （2）部会長あいさつ （3）協議 ①各部会での意見概要について	

	<p>②小中一貫教育について</p> <p>③事例視察について</p> <p>④意見交換会の進め方について</p> <p>⑤その他</p>
6. 開 会 協 議	<p>【進行 会長】</p>
事務局	<p>協議事項1 「各部会での意見概要について」</p> <p>事務局説明</p>
	<p>【質疑なし】</p>
事務局	<p>協議事項2 「小中一貫教育について」</p>
委員	<p>井口の小中一貫校について話がありましたが、南砺市と小矢部市とでは違いがありまして、南砺市の場合は非常に面積が広域ですので、旧の町村の枠組みで考えることとなります。井口が隣接する、例えば城端や井波とは距離があります。また、旧の井口村が何よりも地元で学校の存続を望んでいます。そういう状況の中で、小中一貫ということになっております。最初から小中一貫をスタートにしてしまいますと、そもそも統廃合は必要ないということになりかねない話であると思います。先日新聞に載った高岡市の場合は、7年かけて検討されてきたそうですが、小学校を統廃合した結果、小学校区と中学校区が同じ数になっています。例えば高陵中学校区や高岡西部中学校区ではそれなりの学級規模の小学校と中学校があります。事務局から説明があった境港市の場合も同じでして、7つの小学校と3つの中学校を、3つの中学校区と小学校区のみにする、小中一貫の9年間のスクールができますが、中学校の生徒数はどれも300人規模ですので、中学校としてはそこそこ適正規模であると思います。ですから、そこそこの適正規模の学校であったり、あるいは地域的に非常に距離があったり、地元が学校の存続を強く望んでいる場合においては、小中一貫教育というのは望ましいと思うのです。小矢部市の場合、人口減少で一番問題なのは、中学校の人数だと思えます。中学校のほうが部活動や学級数の問題で将来的</p>

	<p>に今の人口規模で4つの中学校は必要なのかということだと思います。いろいろな議論があると思うのですが、当面は小矢部市で中学校はいくつ必要なのかということを経験的に思い描いてからデザインを立てて、その中で小学校区と中学校区が同じになってしまう場合や、あるいは中学校区の統廃合を推し進めるときに、小中一貫教育というものを念頭に進めるべきだと思います。まず中学校の適正規模から始めていかないと、議論が終息していくのではないかと思います。</p>
委員	<p>小矢部市の地形や地域性を考えると、必ずしも一定の枠にはめる必要はないのではないかと思います。ある地域は小中一貫校を考へることもあるのではないかと思います。一定の型にはめた教育ばかりではなくて、多様な教育の仕方があってもよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>適正規模ですが、どれくらいのところに置けば、適正規模であるというのか、ということだと思います。人口の減少に伴って児童数ももちろん減っていくということになるのですが、小矢部市の第7次総合計画では、今後10年間で、28,200人の人口を保つように頑張っていこうという目標を立てて、諸施策を講じています。それに基づいて児童数はどうなっていくのか、ということだと思います。小中一貫校のようなモデルになるような学校を作ること私も良いと思います。いろいろな角度から勉強して、助言をいただく等をしていかないといけないと思います。</p> <p>資料21ページの南砺市の資料の「今後の課題」についてお聞きしたいのですが、「義務教育学校化に併せて小中一貫校化を予定」とあります。南砺市は、小中一貫校を目指していると捉えてよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>「他校区は井口義務教育学校化に併せて小中一貫校化を予定」と明記されていますので、南砺市の方針として、その方向を目指しておられると解しています。</p>
委員	<p>20ページの「校区」とは何をさすのでしょうか。</p>
教育長	<p>南砺市の高田教育長からお聞きした範囲ではありますが、この</p>

	<p>「校区」は、中学校区を指しています。例えば、城端中学校ですと、城端小学校が対応します。中学校区ごとにそれぞれの小学校を小中一貫教育校にしていくという計画です。ただし、福光だけが中学校と小学校が1対1の対応となっておりません。これについては、検討を重ねている状況にあるとお伺いしました。</p>
事務局	<p>協議事項3「事例視察について」</p> <p>事務局説明</p>
会長	<p>1月中旬に事例視察がありますが、参加希望を確認されるときに何か連絡をいただいて、返答する機会があるということでしょうか。</p>
事務局	<p>その予定です。</p>
事務局	<p>協議事項4「意見交換会の進め方について」</p> <p>事務局説明</p>
委員	<p>小中学校別という形もあるのですが、小中一貫という形があるという考え方であれば合同でした方が良いと感じました。</p>
委員	<p>せっかく部会が2つに分かれておりますので、事務局にはお手数かと思いますが、それぞれの状況も違いますので、案の1の方が良いと思います。</p>
事務局	<p>申し訳ありませんが、先程の事例視察の件について、委員の皆さんのご意見をお伺いしたい点が2つありました。中学校の視察先の候補として、明峰中学校と清明中学校の2つがあります。いずれか1つが良いのか、両方が良いのか、あるいは事務局に一任いただくか、ご協議願えればと思います。また小中一貫校の視察先につきましては、氷見市と富山市の2つを候補と載せております。こちらについてどちらか1校を選んでいただきたく、よろしく申し上げます。</p>

委員	視察に要する時間等はどうなるのでしょうか。
事務局	視察先の学校へ行き、教育委員会の方にお話を伺いつつ、学校を見て回るという流れを想定しております。学校の実情をお聞きするとしたら、どちらの統合パターンのお話を聞くか、ということで選んでいただければと思います。
委員	黒部市の場合は2つの学校に統合されたのですが、ここまでの経緯が非常に大事だと思います。黒部市が2校に絞った背景が大切であり、そのお話をお聞きするべきだと思います。
委員	1と4は距離的に随分離れているのですが、距離的に近いもの2つを見に行く方が参考になり、お話を聞かせていただけないかと思います。
事務局	では清明中学校を視察させていただくことで黒部市と協議してよろしいでしょうか。
	【異議なし】
会長	では次に、氷見市又は富山市のいずれかを視察する場合の考え方について、何か補足説明はありませんか。
事務局	氷見市は、本市の規模的なことと移動距離も含めて考えますと、氷見市でじっくりお話を聞いたかどうかという思いで提案しました。富山市は、先ほど言いましたように芝園小学校はいくつか小学校を統合して今の芝園小学校が成っていますので、全体も踏まえた考え方を富山市に聞けるのではないかという思いもあって、提案させていただきました。
会長	氷見市を視察先とするということで、みなさん異議はありませんでしょうか。
	【異議なし】

委員	氷見市の事例ですが、これは校舎一体型となっておりますが、これはどういう契機で一体型となったのでしょうか。
事務局	氷見市につきましては、南部中学校と朝日丘小学校は、高台に中学校があり、すぐ下に降りていったところに小学校があるという状況でした。正直言いますと、どちらの学校も老朽化していたこともあり、校舎一体型で建てて進められたと記憶しております。
委員	中学校のところに1つの新校舎を建てて、老朽化していた小学校がそこに入ったという解釈でよろしいでしょうか。
事務局	そのとおりです。
会長	それでは意見交換会の進め方に戻りますが、案1のように各部会毎に行うほうがいいのか、案2のように合同で行うほうがいいのか、それぞれ挙手をお願いします。
	【案2に多数の挙手あり】
会長	それでは案2で進めさせていただきます。
委員	意見交換会というのは、ここにいる私たちと保護者の方との意見交換会なののでしょうか、またどのように進めていくのでしょうか。まだ審議会でも統廃合について考える余地が非常にある中で、私たちと保護者の方や地域の方と意見交換会をしたところで何が生まれるのか私には分かりません。私たちと意見交換会をするには時期尚早かなと思いました。
事務局	今程は教職員との意見交換会の進め方を決めていただきましたが、今後、保護者や地域の皆さんとどのように意見交換会を進めていくかということについては、次の全体会でご協議いただきたいと思います。事務局としては、委員の皆様と保護者の皆様、地域の皆様と意見交換をしていただこうと思っております。なお、概略的なところは事務局から説明をさせていただきますが、どのような内容を示して臨むかについては、視察や教職員の方との意見交換会を終え、その後の部会で具体的に協議していただく次のステップがある

	<p>とっております。それを経たうえでの意見交換会になるかと思ひます。</p>
委員	<p>中学校部会でも、私たち審議委員は何をすべきか、それは、子どもたちの教育において、学級がどういった人数が適しているのかということをもずは考えなくてはいけないのではないか、というお話をしてきました。石動が良いとか、大谷が良いとか、東部小学校を残すであるとか、そこを考へてしまうと話がごちゃごちゃになってきてしまい、何が問題だったのか分からなくなってしまう。私個人として今思ふのは、小学校がいくつあるべきなのか、中学校がいくつあるべきなのか、どこにあるかは別として、そういう学校がいくつ必要なのかということをも深く読み取って、話を進めていけたら、より良いのかなと思っております。</p>
教育長	<p>今までの数々の協議の中で、委員さん各々の心の中に結論に至るためにはどのようなアプローチが良いのか、それぞれにお考へが少しずつ生まれていらっしゃるものと推察しております。最終的には意見のとりまとめを行っていただく訳ですが、そこに向かうためにもアプローチの方法はとても大切だと思います。これまでの協議内容をふり返っていただき、様々な視点からの検討を踏まえ、どこからどのようにアプローチするかを、それぞれお考へいただき、話し合っている中で考へ方の共有ができれば、と思っております。</p>
	<p>協議事項5「その他」</p>
会長	<p>ではその他について事務局から説明願ひます。</p>
事務局	<p>「今後の当面の予定」を説明</p>
会長	<p>この件について、何か質問はありませんか。</p>
会長	<p>無いようですので次に、先日開催いたしました第3回の小中学校部会会議録の市ホームページの公開について、お諮りいたします。会議録の発言内容等について、修正等があればご発言をお願いいたします。</p>

会長	<p>無いようですので、それでは、会議録をホームページにて公開することに異議ありませんか。</p> <p>【異議なしの声】</p>
会長	<p>第3回小中学校部会の会議録の公開については、承認されました。</p> <p>以上で本日の審議会は終了とさせていただきます。</p> <p>【閉会】</p>